

在宅避難に 備えましょう

災害に備えて、最低3日分(推奨7日分)の備蓄が必要です。備蓄品を見直しましょう。



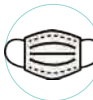
食料・飲料

- ☐主食(アルファ米、乾パンなど)
- ☐缶詰やレトルトのおかず
- ☐飲料水(一人3リットル/日)



応急薬品

- ☐ばんそうこう
- ☐消毒液
- ☐常用薬(お薬手帳)



感染症対策

- ☐マスク
- ☐アルコール消毒液
- ☐除菌シート
- ☐スリッパ
- ☐タオル
- ☐体温計
- ☐使い捨て手袋



生活用品

- ☐衣類・下着・靴
- ☐ティッシュペーパー
- ☐軍手
- ☐タオル
- ☐雨具
- ☐ビニール袋(大小)
- ☐携帯トイレ
- ☐卓上コンロ、ガスボンベ
- ☐口腔ケア用ウエットティッシュ



非常時持出品

- ☐懐中電灯
- ☐乾電池
- ☐携帯ラジオ
- ☐モバイルバッテリー
- ☐貴重品
- ☐防犯ブザー/ホイッスル



女性の備え

- ☐生理用品
- ☐中身が見えないゴミ袋



◀詳細は市庁舎をご覧ください。



使用方法



市公式YouTubeから動画で使い方をご覧ください。



01 倉庫にあるキットを取り出しふたの指示を確認



▲キットのふたを最初に確認！

まずは、防災備蓄倉庫から、キットを取り出し、キットのふたに貼ってある指示内容を確認します。

キット自体には鍵は掛かっていないため、扉が開いていれば、誰でも使用することができます。

◎防災備蓄倉庫の鍵は市職員のほかにも地域住民の方、各まちづくりセンター、危機管理室で管理しています。

02 所長を決め、各班の係を選出



ふたに貼ってある指示内容に従い、まずは、避難者の中から代表者となる所長を決めます。

所長が決まったら、所長用の指示カードに従い、統括・物資・呼びかけ・衛生・住居班の5つの班を決めます。

◎班ごとに分かれて作業を分担して進めるため、一人ひとりの負担が少ないのも特徴です。

03 班ごとに指示カードに従い作業を進める



物資班がリアカーを組み立てる様子

各班が決まったら、各班の指示カードに従い作業を進めます。

指示カードには周りの人に呼びかける際のセリフも書いてあるため、指示のとおり作業を進めるだけで、専門的な知識がなくても、誰でもしっかりと役割を果たすことができます。

11/29(日)



総合防災訓練

自治会・町内会と自主防災組織を中心に行う各地区自主防災活動訓練で、本キットについて学ぶ訓練も実施予定です。

訓練会場や開始時間は、お住まいの地区のまちづくりセンターにご確認ください。



義援金ご協力のお願い

熊本地震災害義援金の募金箱を設置しています。ご協力をお願いいたします。

☒こどもと福祉の未来館、市役所1階総合案内、各まちづくりセンターなど
☒地域福祉センター
☎2922-2115

